

## 「油揚げ・がんもどき」・「かに」・「もち」について

## ○油揚げ・がんもどき（順位：1位・購入額：5,446円（全国平均：2,944円））

- ・「油揚げ」は、浄土真宗の宗祖の親鸞聖人を敬い、偲ぶ行事「報恩講」での料理や永平寺の修行僧の食事「精進料理」で使われてきました。
- ・一般家庭においても「油揚げ」が食べられており、煮物、味噌汁、炒め物など毎日のように食卓にのぼっています。

## ○かに（順位：1位・購入額：4,436円（全国平均：1,407円））

- ・江戸時代の中頃（18世紀）から少しずつ水揚げされ、明治時代から本格的に漁獲されるようになったと言われています。大正11年以降、90年以上にわたり福井県の特産品として皇室へ献上されているほか、平成元年には県の魚として指定されています。
- ・県内の学校の授業で「かに」の食べ方を教えているほか、県内の鮮魚店やスーパーの店頭で茹でたての「かに」が販売されるなど家庭でも馴染みの食品となっています。
- ・産地証明のタグの装着、重さや甲羅の幅、爪の幅で品質を選別し「越前がに極み」として認定、地理的表示（G1）保護制度への登録など他の地域との差別化が図られています。

## ○もち（順位：2位・購入額：2,681円（全国平均：1,699円））

- ・お祝いや節目には「もち」を食べる食文化が残るなど身近な食品です。
- ・スーパーには毎日つきたてが並ぶなど年間を通じて「もち」を食べる習慣が根付いています。